

「秩父広域市町村圏組合ごみ処理基本計画の策定について」パブリックコメント結果報告

次期秩父広域市町村圏組合ごみ処理基本計画の策定に伴い、皆様のご意見を募集したところ、1名の方から7件のご意見をいただきました。お寄せいただいたご意見とご要望に対する組合の考え方については以下のとおりです。ご意見をお寄せいただき、誠にありがとうございました。

1 意見の募集概要

- (1) 募集期間 令和8年2月6日（金）から令和8年3月9日（月）まで
- (2) 意見提出方法 持参、郵送、ファックス、電子メール
- (3) 公表資料 「秩父広域市町村圏組合ごみ処理基本計画（案）」
- (4) 資料公表方法 組合ホームページ、秩父クリーンセンター、秩父環境衛生センター、各市町窓口（廃棄物担当課）にて公表

2 意見の募集結果

- (1) 意見提出者 1名
(提出方法：電子メール)
- (2) 意見の件数 7件

○ご意見の概要と組合の考え方

No.	意見箇所	意見の概要	組合の考え方
1	全体を通じて	<p>資源循環型社会の実現に向けて各市町村で掲げられた目標は、昨今のSDGsに向けた国際情勢とも一致する素晴らしい内容です。ただ、正直当たり障りのない抽象的な印象を受け、そのためには具体的に貴組合や私たち一人一人がどう行動していくのか、どのような施策を講じていく予定なのかわかりませんでした。</p>	<p>本計画では、基本方針及び基本理念に持続可能な社会の実現及び持続可能な廃棄物処理体制の構築を述べるとどめ、組合における今後の具体的な政策にこの考えを反映させていく方針です。なお、市町及び組合の啓発活動を通じて住民一人ひとりには、より一層のごみの減量化と資源化への協力を求めることとしています。</p>
2	全体を通じて	<p>●3Rの推進について</p> <p>リデュース・リユースの方が消費エネルギーの観点からもリサイクル（特にケミカル）よりも望ましく優先して推進していく必要がありますが、これらをどう実現していくお考え（計画）でしょうか？</p> <p>今の要項ですと、「リサイクル」にしか焦点を当てられていない印象を受けてしまいます。</p> <p>秩父地域から排出されるごみすべてをリサイクルするエネルギーを秩父地域だけで賄うことは、費用面などから現実的ではありません。自給率が10%程度の現状ですので、リサイクルが先行すれば消費エネルギーが増えて自給率はさらに低下してしまいます。</p> <p>*秩父新電力発電量及び国内総消費エネルギーより推算。</p>	<p>リデュース・リユースに関するご指摘はごもっともでございます。現時点では住民や事業者等への啓発活動を想定していますが、4Rのご指摘も含めて各市町及び組合の事業に反映できるものは反映したいと考えます。</p> <p>なお、リサイクルにしか焦点を当てられていない印象であるとのことですが、組合ではごみの焼却による発電のほかに、発生したごみを組合の処理する過程で分別、選別等を行い近隣の民間事業者の協力を得ておよそ97.7%を再資源化していることを踏まえ、排出されたごみについては、引き続き再資源化を中心に進めたいと考えます。</p> <p>また、廃棄物の処理に利用するエネルギーについては、秩父クリーンセンターにおいて焼却に伴って発生する熱から発電を行っており、処理に必要な電力を賄い、ごみの</p>

		<p>また、もう使えないものを使えるものに修理して変える「リペアー (Repair) を追加した「4R の推進」の記載がありますと、更に良いかと思いました。修理スキルが必須ですが、それを持ち合わせた技術者、職人、製造業者はたくさんいらっしゃると思います (特に、高齢者)。その方々と連携し、実現できないか探ってみてはいかがでしょうか？</p>	<p>削減も進めつつ、ごみの収集運搬や処理に係るエネルギーの削減も進め、循環型社会の構築に取り組んでいます。</p>
3	全体を通じて	<p>●環境負荷の定量表記について</p> <p>環境への負荷 (NO_x、SO_x、PM といった大気汚染物質や二酸化炭素排出量、水・エネルギー消費量など) の定量表記がありません。地域特性を踏まえた定量的把握は困難であることは予想されるが、具体策を考えるには必要不可欠です。特に、上述の通り「エネルギー消費量」の試算、掲載をご検討ください。</p> <p>サーキュラーエコノミー実現のためにも、エネルギー消費は欠かせません。極端ですが、いくらでもエネルギーを使えるのであればなんでもリサイクルできます。ですので、いかに少ない (≡省エネで) 物質を循環させるかが重要であり、その量の見積もり (見える化) が必須と感じました。</p> <p>* やや専門的にはなりますので、本計画書に掲載というよりは、別途作成し公表した方がよい内容かもしれません。</p>	<p>当地域での環境負荷に関する数値の把握は、組合施設など限られた範囲にとどまっていますので、国が進めるサーキュラーエコノミー実現のため、別の機会をとらえて必要に応じて試算等を検討いたします。</p> <p>なお、環境中の大気汚染物質については、埼玉県によるモニタリングが行われています。適切な生活環境の維持と負荷の低減に向けて、引き続き取り組んでまいります。</p>

4	全体を通じて	<p>●用語解説</p> <p>どうしても専門用語が多くなってしまいがちですが、一般の方でも理解できるよう、少々難しい用語については、末尾にでも一覧を入れてはいかがでしょうか？（ページのヘッダーの方が見やすいかと思えます。）</p>	<p>ご指摘いただいたとおり、一般の方にも理解しやすいよう、専門的な用語については、説明を追加します。</p>
5	P.52 図 3-1-24 関連	<p>●循環型社会実現に向けた長期計画</p> <p>まだ秩父地域で実践できていない取り組みを今後どのようなスケジュールで導入予定でしょうか？（導入予定について具体的に明記し、どういった資源循環を実現していこうとしているかを記載してほしいです。）</p> <p>昨年、大阪万博会場のごみ捨て場（写真）で見られましたが、水分を高濃度で含有する物体（≡生ごみ、食べ残し）を可燃ごみでまとめるのではなく、別途“分けて”回収していました。さらに踏み込み、これを乾燥、減容、燃焼してはエネルギーを多量に消費しますので、水分を含んでいても問題のない有機肥料として再資源化して周辺地域（農家や家庭菜園向け）に還元する仕組みも一つの手かと考えます。</p>	<p>実践できていない取り組みの導入スケジュールを示してほしいとのことですが、廃棄物処理法等に基づき実施すべきことを除き、費用面や実現できる体制が取れるかなど、各自治体の状況や社会情勢に応じて実践するか否かを判断すべきこととございます。小規模自治体で構成する当組合において限られた財政や人員の中で具体的な長期計画を策定することは容易ではございませんが、次期計画に向けて検討したいと考えます。</p> <p>使用済みてんぷら油等のバイオマス系のごみの分別回収・資源化については、秩父市で一部実施していますが、組合では取り組めていないのが現状です。いただいたご意見を参考にさせていただきます。</p>
6	P.56 図 3-3-1	<p>●ごみ排出量の推移について</p> <p>ごみの総排出量が減っていることはグラフからわかりますが、地域活動・経済の衰退（人口減少）が影</p>	<p>人口減少が進む当地域にあっては、人口当たりの排出量で推移を議論してはどうかとのご指摘でございますが、「将来の予測ごみ量」は、現状で推移した場合と目標</p>

		<p>響しているように読み取れます。人が減ればごみの排出量も当然減りますので、人口●人当たりで掲載、議論してはいかがでしょうか？</p>	<p>を達成した場合のごみ量を予測したものでございます。ここで予測したごみの総量に対して、どのように収集するか、処理・処分体制を構築するかを後段で述べる計画の構成となっております。</p> <p>なお、ごみ排出量はごみ総排出量だけでなく、家庭系ごみの1人1日当たりの排出量も資料編において予測しています。ご指摘いただいたとおり、1人1日当たりの排出量の推移についてもグラフを本編に追加します。</p>
7	P.61 処理手数料	<p>●住民が負担する排出時の手数料について</p> <p>住民の負担軽減の一方、処理費用へ充当するための価格とのバランスを取られている印象ですが、もっと指定ごみ袋の処理費充当分を高額にさせていただいて全く問題ございません。(むしろ安すぎます。)</p> <p>「ごみを出すことにお金がかかる。」という印象が社会に根付けば、一人一人が如何にして出費を減らす(≒ごみを減らす)かを考えるようになり、排出量は削減され家庭から排出されるごみを限りなくゼロへ近づけられます。その結果、地域全体から排出されるごみの量も減ってくるのではないのでしょうか。</p> <p>クリーンセンターでの受入れ時の価格も同様、安すぎです。これでは「要らなきゃ捨てればいい。」という残念ながら根付いてしまったこの常識は直せません。</p> <p>複数の物質が混在する(≒分別・分離するために膨</p>	<p>ご指摘いただいたように「ごみの減量化」を目的の1つとして、当組合では埼玉県内の他の自治体に先駆けて、ごみの有料化(有料指定ごみ袋)制度を平成8年に導入しています。基本計画(61ページ)で述べているように物価等の上昇に伴う処理経費の上昇も考慮しながら、処理手数料の見直しを適宜検討します。</p>

	<p>大なコストとエネルギー，資源投入が避けられない） 状態の不要物（特に、可燃ごみ，不燃ゴミ）ほど税率 がかかる仕組みの導入も今後の選択肢に入れていた だきたいと考えております。</p> <p>例：負担額（率） = f（排出量[kg]，種類[数]）</p> <p>*分けられた不要物ほど負担が小さく（安く）なる仕組み。</p>	
--	--	--